





## Step 6 管理ツール「WebUI」を使って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。

ブラウザには「Internet Explorer 6.0以降」を使用し、エンコードを「自動選択」または「Unicode (UTF-8)」にしてください。

**重要** 設定方法の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

- ① クライアントマシン上でInternet Explorerを起動する。
- ② 「アドレス」に「https://hostname:8098/」と入力する。  
「hostname」の部分は、本装置のコンピュータ名を入力します。  
コンピュータ名での名前解決ができない場合は、「hostname」の代わりにIPアドレスを指定してください。
- ③ [セキュリティの警告]が表示されたら、[はい]をクリックする。
- ④ ユーザー名に「Administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックする(出荷時パスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

「iStorage NSシリーズ WebUI」の画面が表示されます。

**重要** もし、画面が表示されなかった場合は、ユーザーズガイドの第7章「故障かな?と思ったときは」の「障害時の対処」-「トラブルシューティング」を参照してください。



## Step 7 セキュリティのセットアップをする

本装置のセキュリティを保つために次のセットアップを必ず行ってください。

パスワードの変更

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。初回WebUI起動時に必ず管理者パスワードを変更してください。WebUIで【開始】→[管理者パスワードの設定]の順に選択し、パスワードを設定してください。

**重要** 本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。

フロントドアのロック

第三者による不正な装置の操作を防ぐためにフロントドアを添付のセキュリティキーでロックしてください(表面のステップ4を参照)。

- ⑤ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照して必要事項を設定する。

**重要** 以下の設定を行ってください。

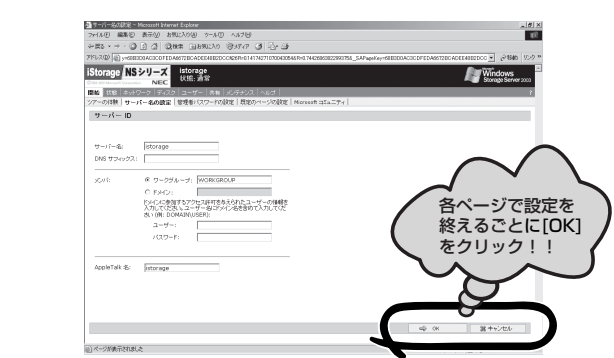
- 日付と時刻の設定
- 通知電子メールの設定
- サーバーアプライアンス名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールでコンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- サーバーアプライアンスIDメンバ(WORKGROUP/ドメイン参加)の設定
- AppleTalk名
- シャドウ コピーの設定(本機能を使用する場合のみ)

- ⑥ 設定を変更したら、設定内容を反映させるために各ページごとに[OK]をクリックする。

以下の設定変更には再起動がともないます。注意してください。

- サーバーアプライアンス名(コンピュータ名)
- サーバーアプライアンスIDメンバの設定(WORKGROUP/ドメイン参加の設定)
- AFT (Adapter Fault Tolerance)の設定(本機能を使用する場合のみ)
- ALB (Adaptive Load Balancing)の設定(本機能を使用する場合のみ)

**重要** サーバーアプライアンス名とAppleTalk名は合わせておくとう便利です。



## Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクドライブなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータ(管理PC)やページャへの通報などを行うユーティリティです。

**重要** 設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC (ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから右図のように確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

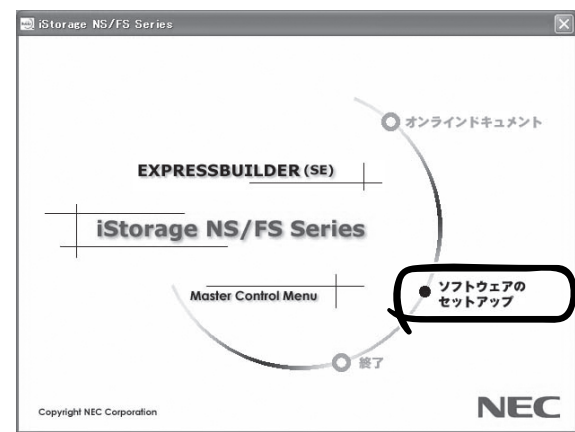
EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]-[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、本製品の管理ツール(WebUI)が起動できます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]-[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

**重要** iStorage NS連携モジュールはシステムに「通常使用するブラウザ」として登録されているブラウザを起動するため、Internet Explorer 6.0以降のブラウザを事前に設定しておくことが必要です。



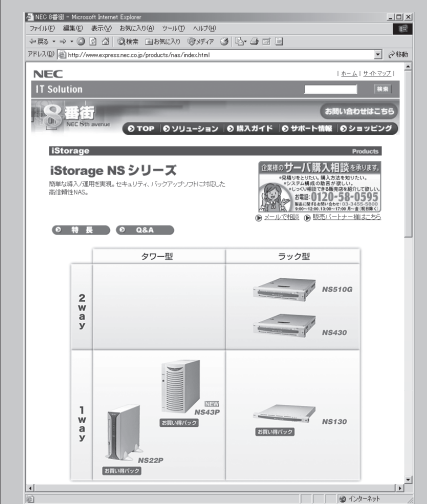
## Step 9 iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのバージョンアップ/リビジョンアップ情報などもご提供いたします。「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.sw.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

NEC iStorageシリーズのホームページ

<http://www.express.nec.co.jp/products/nas/index.html>



＜お読みください＞

- 本装置のシャットダウン操作について  
本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンする場合は、WebUIのシャットダウンメニューを使ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジューリングシャットダウンを利用することもできます。
- 本装置のドキュメントについて  
管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。  
管理者ガイド  
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>  
ユーザーズガイド  
<http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>
- ディスクアレイ構成を変更した場合  
ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィギュレーション情報のバックアップを行ってください。
- 電源制御機能の使用について  
本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれていますので、スタンバイ/休止状態で運用しないでください。
- システムのパフォーマンスを活用するために  
本装置のOSを再インストールする場合は、本体内部のディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定は「Write Thru」を選択してください。増設バッテリーを搭載している場合は、「Auto Switch」を選択できますが、OSの再インストール時は「Write Thru」にしてください。なお、増設バッテリーの有無に関わらず、「Write Back」は選択しないでください。

商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
© NEC Corporation 2005  
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。  
このマニュアルは再生紙を使用しています。